

鳥獣忌避対策！

TOBARI⁺⁺⁺

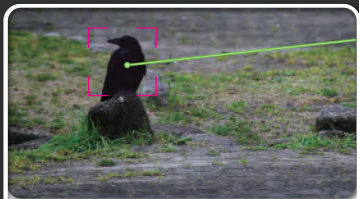
自動追尾レーザー照射装置



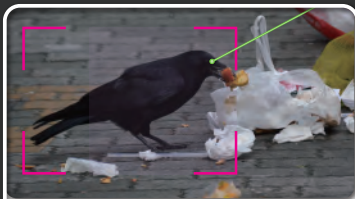
特許第 7731161 号 / 特願 2023-103375

AIによる自動追尾&デバイス連動で鳥獣忌避エリアを確立させる

TOBARI⁺⁺⁺



限定エリアに侵入した鳥獣を画像認識し、ロックオン。レーザー光を照射しながら追尾



対象の鳥獣がエリアを出ない場合は、連動デバイスによる威嚇（音波・威嚇音・LEDフラッシュ）を発動



再訪する鳥獣の行動アルゴリズムを記録・深層学習することで、最善の忌避対策を実行



環境に合わせた装置開発をご希望の方はお問合せください

AMX

AI-powered Wildlife Deterrent System

AMX株式会社は、人と鳥獣が共生できる社会を目指し、鳥獣を自動的に追尾しレーザー光を照射することにより鳥獣を追い払える装置を開発しました。対象を画像検知・照合するAIや物体検出をするアルゴリズムと深層学習を活用した照射モードや連携した他デバイスから音響・フラッシュライト効果など絶えず変化した動的対策によって監視エリア外へと追い払うことが可能です。

AMX

AMX株式会社
www.amx.ne.jp



鳥獣の動きに AI で追従する自動追尾装置

鳥獣被害と対策課題

▶電線・鉄塔での糞害

▶ごみ集積所のカラス被害

▶農作物への獣害
(ハクビシン・イノシシ・鹿・熊など)



▶防鳥ネットやフェンス



農作物や果樹園をネット等で保護

設置コスト

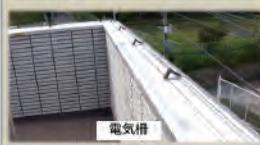
▶音響、光・レーザー光の照射



手動の威嚇照射や、自動制御によるセンシング照射

人的対応・一時的効果

▶生息地の制限・管理



巣の撤去や防鳥ネット等で生息環境を制限

設置コスト・危険性

▶味覚刺激剤



刺激剤を作物に直接塗布、周囲に撒き効果を発揮

限定された効果

▶追い払い装置

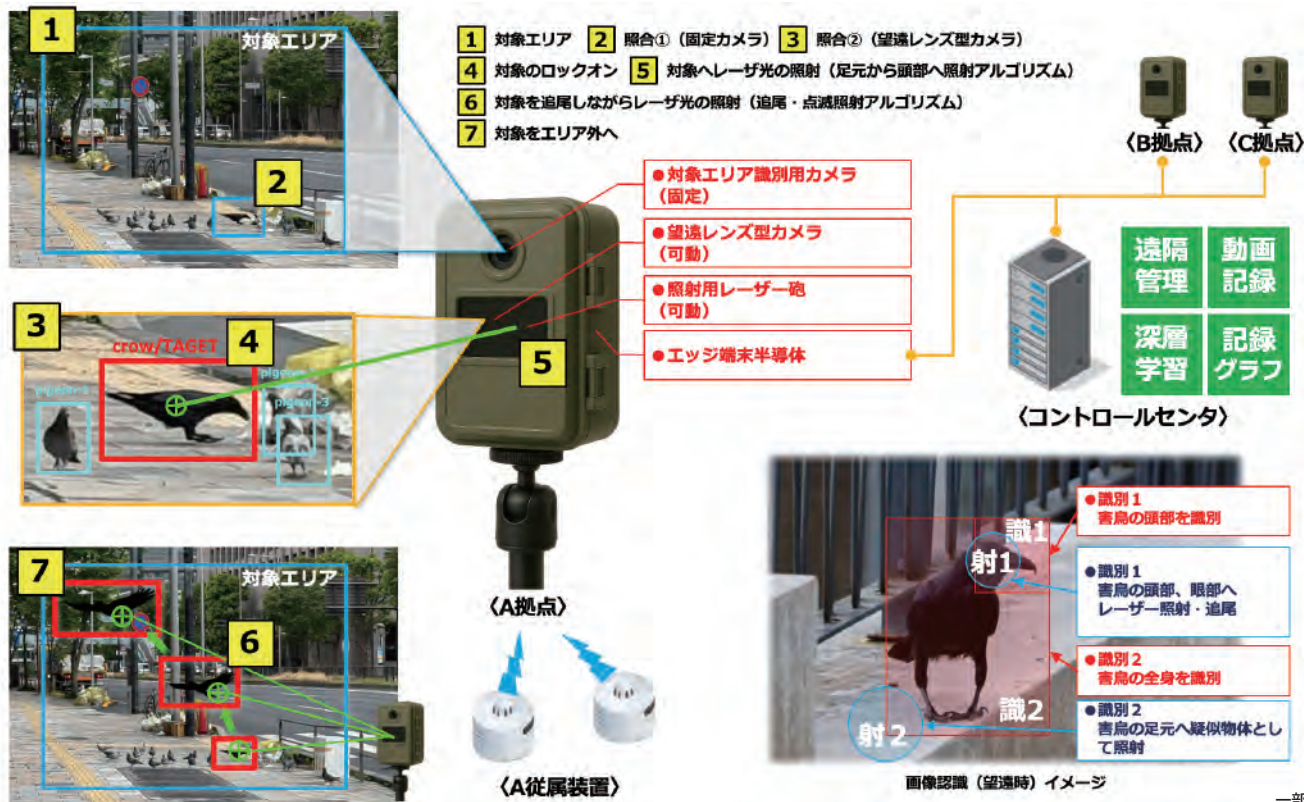


装置のセンサーが反応すると振動や鳴き声が発生

学習（耐性）される

鳥獣の行動を無視した一方的な対策となる鳥獣忌避技術では、耐性がつき効果が低減する傾向

製品仕様・装置構成



AMX

〒143-0013
東京都大田区大森南 4-6-15
テクノFRONT 森ヶ崎 405

sales@amx.ne.jp
03-3400-1360
https://amx.ne.jp/

AMX 株式会社
(法人番号: 8130002004664)



おおた農水産業研究会
Ota Agri-Fishery Improvement Group

会員
事務局



一般社団法人
日本Additive Manufacturing学会
The Japanese Institute of Additive Manufacturing

賛助
会員

